

2023年8月10日

# 2024年3月期 第1四半期 決算説明補足資料

センサで世界を測る、未来を拓く。

## OHIZUMI

株式会社大泉製作所

## 【売上】

- 顧客の在庫調整等により空調・カスタム、エレメント事業が不振、前年同期比減収となった
- 自動車電動化領域は需要拡大も、搭載車種の販売が振るわず前年同期比微増に留まる

## 【収益】

- 減収と在庫消化による操業度低下
- 外部環境悪化コスト・成長投資は原価改善・為替益で吸収も、操業度損が大きく損失計上となった

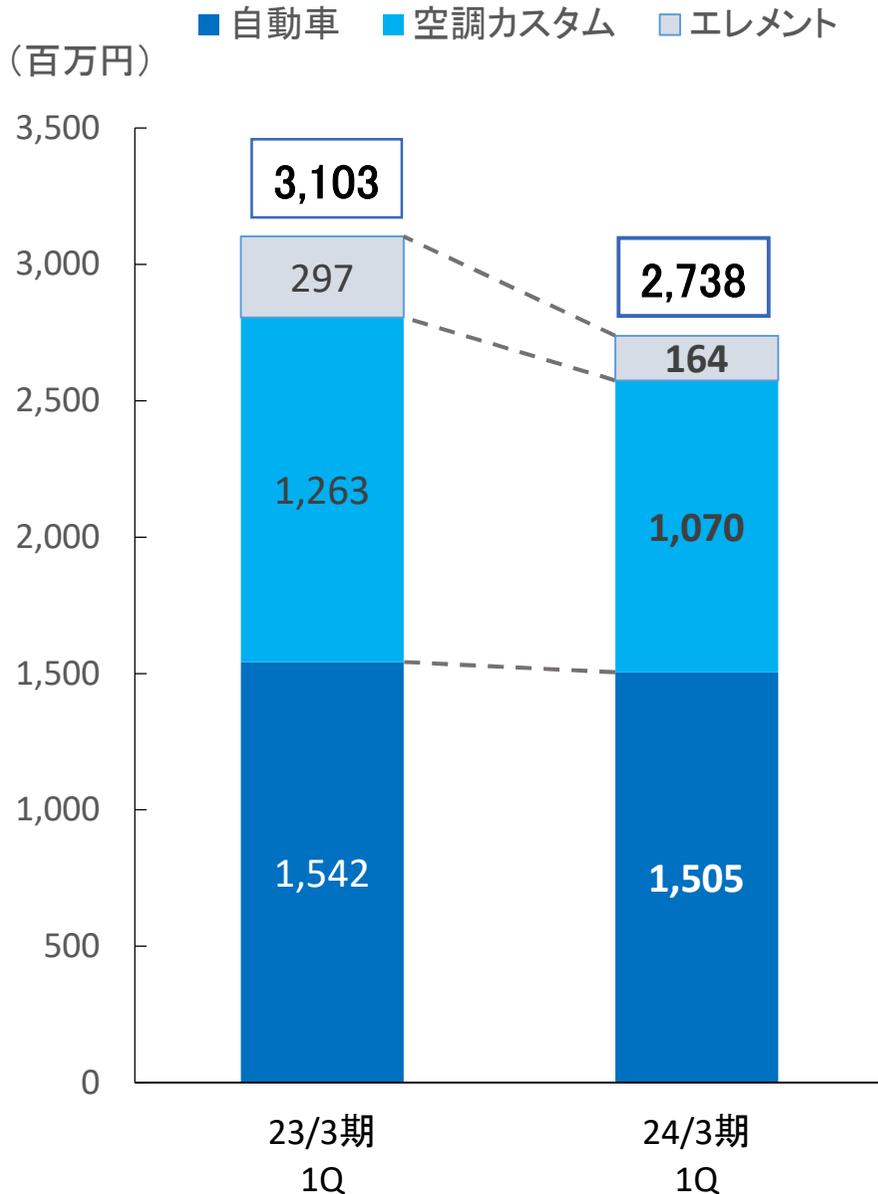
# 第1四半期損益実績(前年同期比)

OHIZUMI

単位:百万円

	2023年3月期 第1四半期		2024年3月期 第1四半期		
	実績	売上高比	実績	売上高比	前年同期比
売上高	3,103	100.0%	2,738	100.0%	▲11.8%
売上原価	2,369	76.3%	2,392	87.4%	+1.0%
売上総利益	734	23.7%	346	12.6%	▲52.9%
販管費	545	17.6%	518	18.9%	▲5.0%
営業利益	188	6.1%	▲172	▲6.3%	▲191.2%
営業外損益	107	3.5%	100	3.7%	▲6.6%
うち為替	133	4.3%	101	3.7%	▲23.7%
経常利益	295	9.5%	▲71	▲2.6%	▲124.3%
当期純利益	177	5.7%	▲112	▲4.1%	▲163.5%

# 事業別売上高（前年同期比較）



事業	前年同期比 (百万円)	増減率	増減コメント
全体	▲ 364	▲ 11.8%	●市場・顧客の在庫調整や季節製品の生産終息等により空調カスタム、エレメント事業が大幅減
自動車	▲ 37	▲ 2.4%	●半導体需給の回復傾向も顧客稼働調整や搭載車種の生産終息により前年同期比微減 ●電動化領域は需要増の一方、中国国内での日系車両販売減により微増に留まる
空調カスタム	▲ 193	▲ 15.3%	●顧客の在庫調整や前期の季節製品まとめ出荷影響等により空調・カスタムともに減収
エレメント	▲ 133	▲ 44.9%	●市場在庫調整と前期好調だった光通信(FTTx用)の需要減により大幅減

# エリア別売上高

- 日本 : 車両生産は底打ちも、空調カスタム・エレメントの在庫調整影響から微減
- 中国 : 顧客の在庫調整、日系電動車の販売不振等で減収
- その他 : 車両生産回復、ヒートポンプ需要拡大で増収

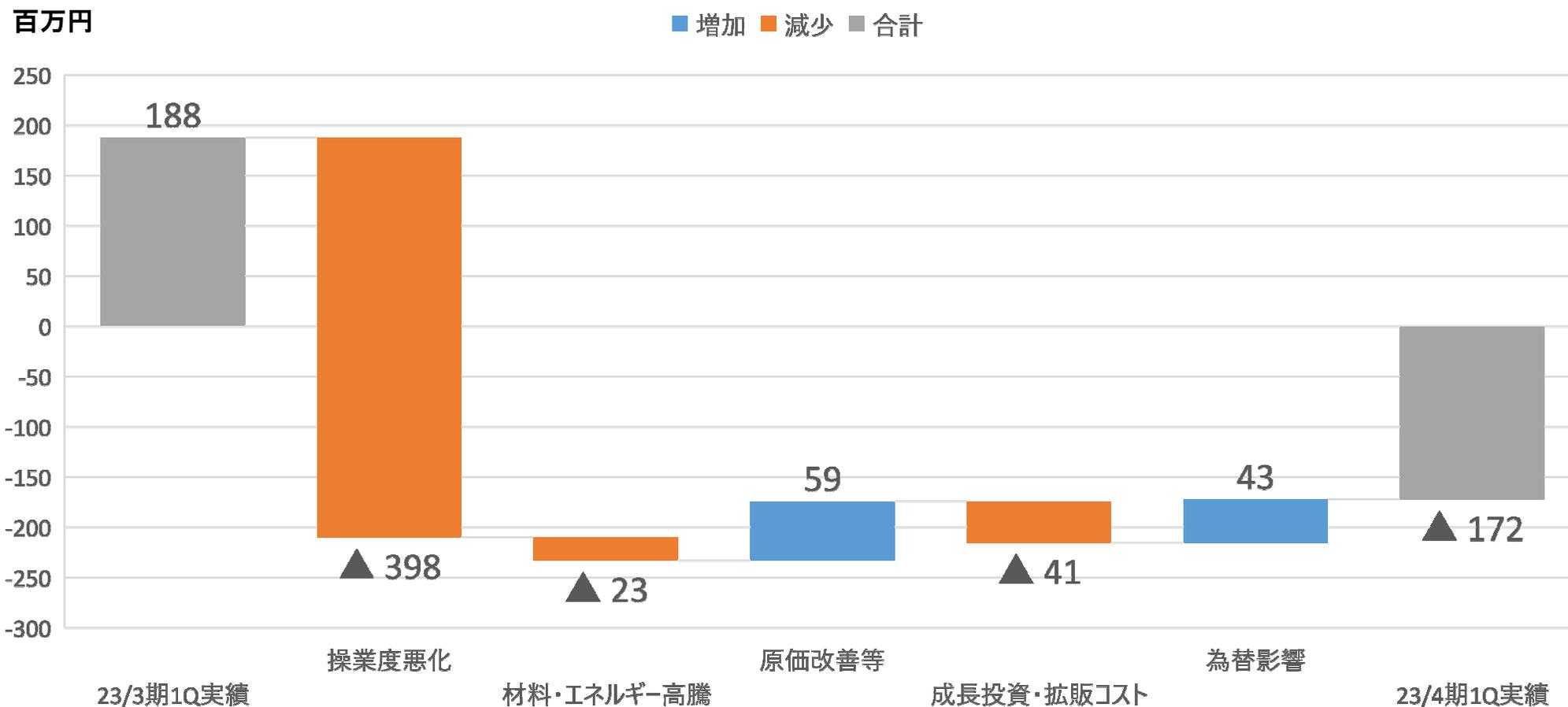
単位:百万円

エリア	23/3期 第1四半期	構成比	24/3期 第1四半期	構成比	前年同期比	増減率
日本	1,256	40.5%	1,226	44.8%	▲ 29	▲ 2.3%
中国	790	25.5%	489	17.9%	▲ 301	▲ 38.1%
ASEAN (含インド)	413	13.3%	326	11.9%	▲ 87	▲ 21.2%
その他	642	20.7%	696	25.4%	+53	+ 8.4%
合計	3,103	100.0%	2,738	100.0%	▲ 364	▲ 11.8%

\* エリア区分は当社の納入先を基準とし、各売上高には納入後に他国に輸出されるものが含まれます。

- 減収と在庫消化により操業度が低下
- 原価改善等で外部環境悪化コストを吸収するも、営業赤字となった

### 2023年3月期第1四半期との営業利益比較



## 注意事項

この資料に掲載されている、株式会社大泉製作所の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的  
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。これらは、現在入手可能な情報から得ら  
れた株式会社大泉製作所の経営者の判断に基づいており、内容の正確さについては細心の注意を  
払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当社は一切責任を負  
うものではありませんのでご了承ください。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行  
われるようお願いいたします。

センサで世界を測る、未来を拓く。

# OHIZUMI

IR お問い合わせはホームページからお願いします。

<http://www.ohizumi-mfg.jp/contact/>